

金沢21世紀美術館 「自治区」03
 小金沢健人+曾我大穂 ライブセッション
 「光の工作、巡る音」



4月29日(土・祝)に、金沢21世紀美術館プロジェクト工房にて、「自治区03 小金沢健人+曾我大穂『光の工作、巡る音』」を開催します。

小金沢健人によるプロジェクターを用いた即興的な光のパフォーマンスと、CINEMA dub MONKSを率いマルチプレイヤーとして活躍する曾我大穂の音。二人のセッションによる光の工作、巡る音。

貴メディアにてご取材・事前告知をお願い申し上げます。

小金沢健人 KOGANEZAWA Takehito

1974年東京(日本)生まれ、広島県在住。武蔵野美術大学で映像を学んだ小金沢は、在学中より「スタジオ食堂」の活動に参加し、1997年には横浜で開催されたグループ展で映像作品を発表している。卒業後もなくドイツに渡り、2017年初頭までベルリンを拠点に制作を続けてきた。映像を軸としつつパフォーマンスやドローイング、そしてインスタレーションへと表現の幅を広げ、国内外で発表。日常の機微を鋭敏に察知し、そこに潜む謎や不穏、美しさやおかしみを浮かび上がらせる作品は高い評価を受けている。国内での主な個展に『Dancing In Your Head』(2004年/資生堂ギャラリー)、『あれとこれのあいだ』(2008年/神奈川県民ホールギャラリー)、『動物的』(2009年/丸亀市猪熊弦一郎現代美術館)。当館にて4月29日から開催する「コレクション展1 PLAY」にて作品を展示(7月23日まで)。

曾我大穂 SOGA Daiho

マルチプレイヤー。曾我大穂とジャズ・ベーシストのガンジー西垣を中心に1999年に結成したCINEMA dub MONKSでは「物語のある音楽」をテーマに映像を使い、“一本の映画”のようなライブを行う。4度にわたるヨーロッパツアー、ニューヨーク公演、FUJI ROCK、ARABAKI ROCKなどの大型野外フェスティバルに参加するなど日本や世界各地の観客を魅了。CMの音楽のほか、二階堂和美やハナレグミなど数多くのミュージシャンたちのレコーディングやサポートメンバーなど、様々な形で活動を展開している。小説家・いしいしんじの即興小説と音楽のコラボレーションや、写真・ダンス・映像・演劇などの様々なジャンルとの共演も多い。これまでに1枚のアナログ盤と3枚のCDアルバム盤をリリース。

「自治区」について

今年度、金沢21世紀美術館が立ち上げた自主自由自立自律自治をコンセプトにした活動区の総称。美術に限らず科学、歴史、社会学など、学際的に他の領域を横断しつつ、年間を通してライブ、映像上映、トーク・シリーズ、滞在制作、身体表現など多様なプログラムを継続的に実施。「自治」をキーワードに、外部コミュニティとの連携・協働を通じて、これまでの美術の領域を超えるべく実験的なアクティビティを展開するものです。公式サイト <http://jichiku.com>

イベント名	自治区 03 小金沢健人+曾我大穂「光の工作、巡る音」		
日時	2017年4月29日(土・祝) 開場16:30 / 開演17:00(アフタートーク 18:30~20:00)		
会場	金沢21世紀美術館 プロジェクト工房		
料金	2,000円(1ドリンク付)	定員	50名(自治区公式サイトjicjiku.comにて予約受付中)
出演	小金沢健人(アーティスト) 曾我大穂(マルチプレイヤー)		
主催	金沢21世紀美術館[公益財団法人金沢芸術創造財団]		
お問合せ	金沢21世紀美術館 TEL 076-220-2801(学芸課)		

取材申込み/問合せ先

金沢21世紀美術館 広報担当:川守(広報室) 事業担当:中田(学芸課)
 〒920-8509 金沢市広坂1-2-1
 TEL 076-220-2814 FAX 076-220-2802
<http://www.kanazawa21.jp> E-mail: press@kanazawa21.jp
 ※ご取材の際には、事前にご連絡をお願いします。

